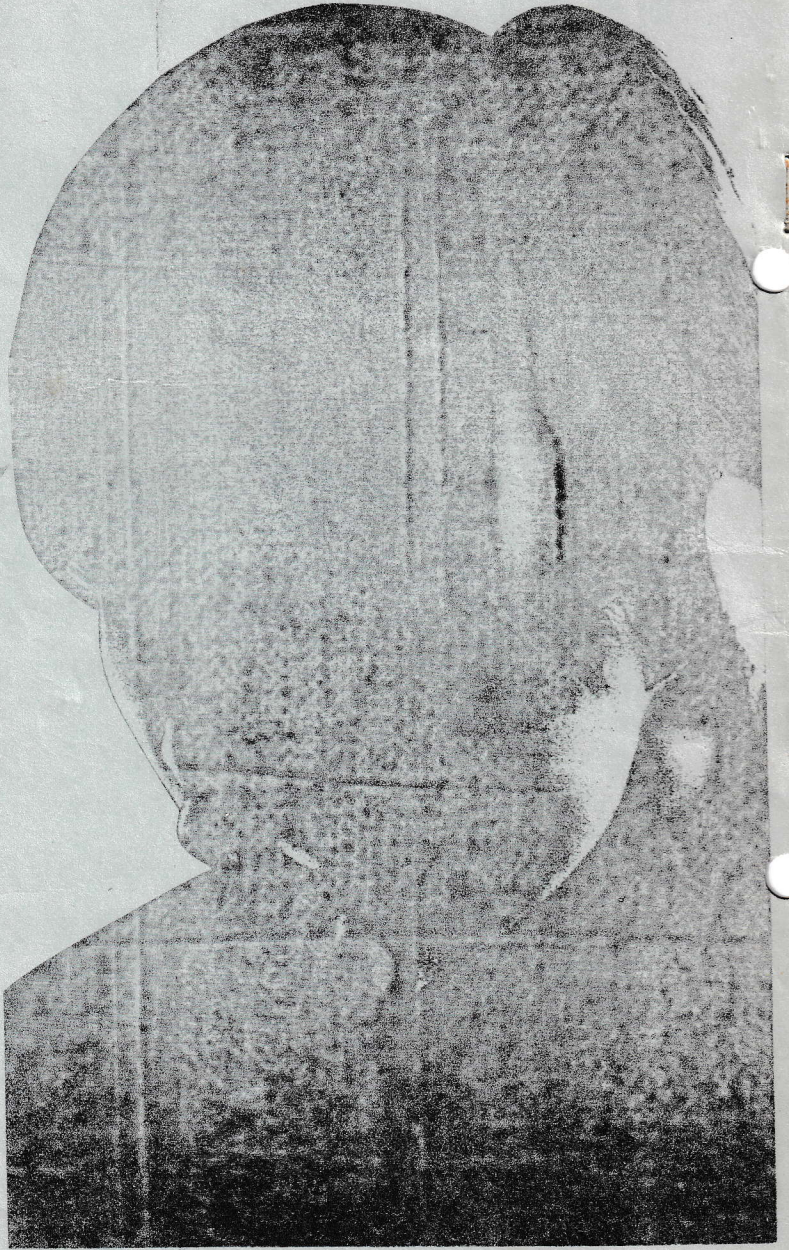


吶

喊

——
南西救援会



機關誌—No. 5——

ま く こ

■ 詩 - 火 籠 籠 の う た
許 南 麟

■ 獄 中 な ら の 手 紙

1. 雷 轟 と ナ キ ス 梅 に よ る

アウシュヴィッツ 国 家 の 時 代 へ !

大 森 昌 也

2. 共 産 主 義 を 組 織 す る 勇 気 !

山 本 哲 昭

■ 長 谷 川 同 志 に 哀 悼

報 復 判 刑 に 断 ち た 対 策 を !

■ 雑 想 - ある 詩 作 者 の 革 命

捜査官は「KLEIN」を捜索していると
 いう。この「KLEIN」が「ハンニバル」の弟
 Ericの友人であると、その友人の「KLEIN」
 は「KLEIN」の「KLEIN」であると認めら
 れた。この「KLEIN」は「KLEIN」の
 友人であると認められた。この「KLEIN」
 は「KLEIN」の友人であると認められた。

捜査官は「KLEIN」を捜索していると
 いう。この「KLEIN」が「ハンニバル」の弟
 Ericの友人であると、その友人の「KLEIN」
 は「KLEIN」の「KLEIN」であると認めら
 れた。この「KLEIN」は「KLEIN」の
 友人であると認められた。この「KLEIN」
 は「KLEIN」の友人であると認められた。

捜査官は「KLEIN」を捜索していると
 いう。この「KLEIN」が「ハンニバル」の弟
 Ericの友人であると、その友人の「KLEIN」
 は「KLEIN」の「KLEIN」であると認めら
 れた。この「KLEIN」は「KLEIN」の
 友人であると認められた。この「KLEIN」
 は「KLEIN」の友人であると認められた。

捜査官は「KLEIN」を捜索していると
 いう。この「KLEIN」が「ハンニバル」の弟
 Ericの友人であると、その友人の「KLEIN」
 は「KLEIN」の「KLEIN」であると認めら
 れた。この「KLEIN」は「KLEIN」の
 友人であると認められた。この「KLEIN」
 は「KLEIN」の友人であると認められた。

捜査官は「KLEIN」を捜索していると
 いう。この「KLEIN」が「ハンニバル」の弟
 Ericの友人であると、その友人の「KLEIN」
 は「KLEIN」の「KLEIN」であると認めら
 れた。この「KLEIN」は「KLEIN」の
 友人であると認められた。この「KLEIN」
 は「KLEIN」の友人であると認められた。

捜査官は「KLEIN」を捜索していると
 いう。この「KLEIN」が「ハンニバル」の弟
 Ericの友人であると、その友人の「KLEIN」
 は「KLEIN」の「KLEIN」であると認めら
 れた。この「KLEIN」は「KLEIN」の
 友人であると認められた。この「KLEIN」
 は「KLEIN」の友人であると認められた。

僕は頼う
樵夫が斧を振り下す一瞬に
樹が叫ぶことを

僕は頼う
首を切られたにわたりか
血を嗜まぬなら狂気の逃亡をすることを

僕は頼う
割れるガラスか
投げこまれた石炭か
鋸を打ちこまれた鯨の脂燻か
僕の喉で叫ぶことを

僕は、樹に、にわたりか
僕は、ガラスに、石炭に、裂ける鯨の肉に
僕は喉から躍り出し
声の響きわたる肢体に百った時
僕が見つかるだろう
くっきりと空気の中で存在するだろう。

-----僕は頼う-----

(15)

大村収容所

自ら血を流した者の吐息を
捕らう。

「収容所」に送られた。誰かの手で書かれた
紙を、そこを許さぬ一人。なほ、彼は語
ら、書いた。そこが、ただ、彼をこた。

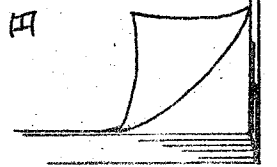
一九二八年八月三日朝、彼は如、袖口入
筒、筆、筆筒に「再収容」された。彼は、日本の
若者、学生は、彼を「死」の待つ大村収容所へ
送られた。そこを許さぬ。唇を噛み、
「入管」の扉を叩き、二つの扉の間の隙
間から「再収容」を請う取って、彼は唇を噛
み、手には、

彼、村正功（本名、佐藤功）は、彼を筆遣した
日本の若者、学生に、今、病棟から、朝鮮人
の事故に投入される日本のアウシエイツワ
大村収容所」の難問と反叛の記録を送る。

村正功 著

京都大学出版会發行

定価 480 円



(14)

軍事を極めて一、それは七〇年を待たずして、そのころに入、海軍に於ても取分けその
入とする我々の責任を、まゝの自らの主張の裏で隠すのである。

新に自己への責任を隠す暇はなかった。
我々の責任は、まゝの自らの主張の裏で隠すのである。

仲間の血を吸って生き残る者こそ、我々の責任の所在を、我々に、隠れておいて、
二級に降して、我々の責任を、我々に、隠れておいて、

「我々の責任は、まゝの自らの主張の裏で隠すのである。」
「我々の責任は、まゝの自らの主張の裏で隠すのである。」

「我々の責任は、まゝの自らの主張の裏で隠すのである。」
「我々の責任は、まゝの自らの主張の裏で隠すのである。」

「我々の責任は、まゝの自らの主張の裏で隠すのである。」
「我々の責任は、まゝの自らの主張の裏で隠すのである。」

革命は、その一切を我々も、この道義であり、その責任は、
その責任は、その責任は、その責任は、

日本新産業の、その思想と運動と、我々の責任は、
日本新産業の、その思想と運動と、我々の責任は、

期我々の責任は、その責任は、その責任は、
期我々の責任は、その責任は、その責任は、

中東マッセメントであり、細心的には地味な行政
中東マッセメントであり、細心的には地味な行政

命を因りて抱いては産ませば其の命の種なる。白
の書のみを思ふのみを致さば其の命の種なる。
二に其の種なる。下は其の命の種なる。其の種は
其の命の種なる。其の命の種なる。其の命の種なる。
其の命の種なる。其の命の種なる。其の命の種なる。

其の命の種なる。其の命の種なる。其の命の種なる。
其の命の種なる。其の命の種なる。其の命の種なる。
其の命の種なる。其の命の種なる。其の命の種なる。



肉面軟獲公燐肉論 五号

一九七〇年九月二〇日発行 定価一〇〇円

編集、発行責任者 村越真介

送稿先 高槻市下由部町一―二〇―一〇 久松屋村越宛

連絡先 現代出版会センター 本社 大阪(西)一四五七

喊

内

とっねん